

# 本を選ぶ

NO.456 2023年(令和5年)5月20日

●発行／ライブラリー・アド・サービス

<http://www.las2005.com>

本社 〒114-0002 東京都北区王子 4-23-4 TEL=03-6908-4643

●<ろん・ぼわん>指先の話

●宇和民具館第23回企画展

「戦時下の子どもたち～学校日誌から見えてくる当時の様子～」を観て



●●●●●ろん・ぼわん●●●●●

## 指先の話

他人の筆記具や箸の握りが少し気になる。少し、というのは他人の所作に対して余計なお世話というためらいがある一方で、年齢層によって共通した傾向が認められるという興味関心がどうしても残るからだ。さらに箸が正しく握れないのは親の躰が云々という小言を親の世代から聞かされてきて、正しい箸の握り方に加えてその正しい伝授法もやかましく言われてきた、という滑稽かつささやかな自負があるからのようだ。

箸の上げ下げなどという古めかしい物言いが残っている自分が言うその年齢層というのは、もちろん自分より数世代以上若い人たちを指す。おそらくは40歳前後までの人たちだろうか。筆記具で言えば、あんな握りでよくさらさらと字が書けるなど感心したり、箸なら米粒ひとつでも掴めるのかなと心配してみる。だが教え方がどうであれいづれ字は書けるようになるし、食事に支障は起きまい。文字通り大きなお世話なのだ。多くの日本人にとって正しいとされてきた筆記具や箸の握りについて調査・研究している若手の文化人類学(?)者がいるかもしれない。未読だが『箸はすごい』(エドワード・ワン著/仙名紀訳/柏書房/2016年)は東アジア文化圏の視点で書かれているらしい。

箸を買うために専門店を訪ねた。修理も考慮したものの、この際買い換えてみようとなった。デパートなどで下見をした上で品揃えがいい専門店にしたのは正解だった。漆塗りの箸か拭き漆の木地仕上げか、形状も普通の丸形や四角かそれとも五角形や八角形など選択肢はさまざま。見た目と触ってみるとではやはり差がある。ポイントとなるのは重さとバランス、そこに持ち心地などの好み加わる。木地仕上げの天然木の箸を見ると南洋材の硬い材が多い。すると重い箸になる。目を引くのが各職人ともスネークウッド(蛇紋木)や黒檀、紫檀などのいわゆる唐木を好んで削り出している。稀少材なのでそれなりに値段も張る。

スネークウッドは高級品のステッキとして知られているほか、ナイフの柄や万年筆の軸、そしてかつてバイオリンなどの弦楽器の弓にも使われていた。しかしスネークウッドの比重と弾性には難がありチェロやコントラバスの弓ならあり得るが、現代においては総重量55グラムと言われるバイオリン弓の材としてはフェルナンブーコの重さとしなやかさに決定的な利点があると言われている。

大きさに過ぎると笑われるかも知れないが、指先の繊細な動作による毎日の箸使いと弦楽器の弓使いは案外共通点があるように思う。両者とも微妙なバランスが重要なのだ。もちろん弓の場合はその先に音の善し悪しが直接的に関わる。

結局、たくさんの箸を試したあげく幾つかの候補に絞り、重さ17グラムの津軽塗りの箸を買った。見た目と持ち心地が決め手となった。(埜村太郎)

## 宇和民具館第 23 回企画展

# 「戦時下の子どもたち～学校日誌から見えてくる当時の様子～」を観て

菅 修一

### I. はじめに

宇和民具館（以下、民具館）第 23 回企画展「戦時下の子どもたち～学校日誌から見えてくる当時の様子～」(以下、同展)（開催期間：令和 4 年 6 月 11 日～令和 5 年 1 月 15 日）を見学した。宇和民具館は愛媛県南予地方の西予市卯之町にある。同展は同地にある宇和町小学校とその前身校である宇和町尋常高等小学校、宇和町国民学校の学校日誌が民具館に隣接する国重要文化財・開明学校に所蔵されていて、その学校日誌を読み解かれた上甲<sup>うのま</sup>乱一先生（地元の小学校長などを歴任）の研究成果に基づいて行われた。上甲先生と民具館の仙波香菜子さんのお話、展示資料により報告する。

### II. 上甲先生と宇和町小学校の学級日誌との出会い

開明学校の事務室に大正 4 年度から昭和 63 年度の宇和町小学校の学校日誌が並んでいるのを見かけた。それが上甲先生の学校日誌との出会いである。昭和 17 年に近隣の村立田<sup>たのすじ</sup>之筋国民学校に入学（現在の田之筋小学校）された上甲先生は終戦後の墨塗教科書などが気になり、当時の学校の様子がどのように記録されているのか学校日誌を読んでいかれた。手書きの文字は読みづらい。学校日誌に関心を持った人が読み易くなるよう活字翻刻された。開明学校事務室に『学校日誌から読み取る宇和町国民学校「宇和町小学校」(昭和 16 年～22 年)』などとしてその成果は保管されている。

### III. 展示

#### 1. 展示の目的

仙波さんは、日本の戦争を語る時、第二次世界大戦、太平洋戦争を大きく取り上げるが、日本では、それ以前の明治時代の日清戦争、日露戦争、昭和 6 年の満州事変以来の中国との 15 年に渡る戦争があったこと、その戦争が宇和町で生活する人たちに反映していたことを学校日誌や民具館に残る資料から読み解き、平和な日常の大切さを考える糧にした

いとのことであった。

#### 2. 学校日誌から抽出された戦争

展示会場には学級日誌を基にした民具館作成の詳細な年表（図 1）が掲示されていた。宇和の地における日々の営みの中に戦争がどのような影響を及ぼしたかを読み取ることができた。

##### (1) 昭和 2～3 年度の記述

“高等科男子 海軍講話傍聴のため町役場に”（昭和 2 年 6 月 16 日）、“動員令、出征軍人の見送り、千人針と戦争気分高潮。”（昭和 4 年 2 月 26 日）など、満州事変以前から人々は戦争の渦中にあった。

##### (2) 昭和 7 年～昭和 11 年度の記述

“宇和島に停泊中の軍艦を見るため二時間授業の後、尋常三年以上の児童は俵津<sup>たわらづ</sup>の山に行った。”（昭和 7 年 2 月 23 日）との記述があった。宇和町から宇和島までは 20 km の距離がある。遠く海を臨める俵津の山から遙か宇和島の方向に巨大な軍艦を見ることができたのであろうか。ただただ軍艦を見るために授業が早くに切り上げられ、教師に引率された子どもたちが長い道のりを歩いたのであろう。“灯火管制演習の為、八時より八時五十分まで暗黒の世界となる”（昭和 9 年 7 月 20 日）との記述がある。灯火管制とは敵に見つからないよう電灯、ろうそくなどの照明を消すことを意味する。空襲を想定しての演習になる。もう昭和 9 年の時点で想定されていた。

##### (3) 昭和 12 年度

盧溝橋事件（昭和 12 年 7 月 7 日）を発端に日中戦争が始まり、“出征兵士見送り”の記述が頻繁に記されていた。（7 月 31 日に始まり 13 回記載あり）。一方、“戦死者遺骨お出迎え 午後二時四十分 午後四時の二回”（昭和 12 年 11 月 30 日）という記述もある。

##### (4) 昭和 13～15 年度

昭和 13 年 4 月 1 日に国家総動員法が公布された。“家庭防空組合結成式”（昭和 13 年 9 月 22 日）の記

昭和年度	月	日	日誌の内容	解説	
2年 1927年	5	9	家庭①にて藤中佐(日露戦争で活躍した軍人)の活動写真観覧(映画)	①家庭:現在の市営第1駐車場に昭和48年まであった芝居小屋	
	6	16	高等科男子 海軍講話傍聴のため町役場へ		
3年 1928年	11	20	本日より明日にわたり宇和平原における宇喜五郎中等学校および青年訓練所②の訓練参加の為、宇和島中学校職員生徒全部午前11:45到着 幹部たちの会議は教職員室で行われる	②青年訓練所:男子勤労青年に軍事教育や訓練を行う所 ③千人結び・千人針:布に千人の女性が赤糸でひと針ずつ縫い千個の縫い玉を作り、武運と無事を祈って出征兵士に送ったもの。日清日露戦争あたりから始まった	
		21	児童は訓練を見学		
	2	24	朝から戦争の話がみなぎっている。千人結び③を児女にと云って三人もおでんになった。あの小さい手でも冷たさでかじけている手で一心にする。これでこそ思われてきた。町の人々の立ち話にも戦争の話である。割合静かだった宇和の平原がわきあがったようである。	 <p>これは「千人力」(せんにんりき):かという漢字を千人の男性にかいてもらうお守り</p> <p>④出征軍人・兵士:戦地に行く軍人、兵士</p>	
		25	児童にも戦争気分がみなぎっている。朝から午後にかけて千人針の持参者数も多かった。		
		26	勸業券、出征軍人の見送り④、千人針と戦争気分高潮。		
		27	女児は毎日千人針の奉仕に忙しい。		
7年 1932年	4	5	尋常3年以上、軍事訓練参観	昭和6年 満洲事変がおこり昭和7年に満洲国がつくられる・リットン調査団「満洲事変」の調査結果を不報とし8年に国際連盟脱退。 五・一五事件で大隈首相自殺等、政治に不満を持つ海軍青年将校が中心になって起こしたテロ	
		2	23	宇和島に停泊中の軍艦を見るため二時間授業の後、尋常三年以上の児童は橋津の山に行った。	
9年 1934年	7	16	空襲訓練参観⑤	⑤防空演習:空からの攻撃の備え、防空に関する知識を学ぶための会 ⑥灯火管制:敵に見つかからないよう電灯、ろうそくなどの照明を消すこと	
		20	灯火管制演習⑥の為、八時より八時五十分まで暗黒の世界となる		
10年 1935年	11	10	30	午後一時 大日本国防婦人会⑦ 宇和町分會発会式あり	⑦国防婦人会:国防は台所からのスローガンのもと、かつぼう着にたすきの姿で活動。出征兵士の見送りや型紙袋の作成など、戦後活動を行った。日本、国際連盟脱退 ⑧二・二六事件(昭和11年2月)皇運派の海軍青年将校が1483名の下士官らを率いて起こしたクーデター未遂事件
		13	午後一時 濱治将校歓迎の為鳥場まで全生徒で出迎え(旅団演習)		
		14	午後一時より軍用犬の訓練を見学		
		16	旅団演習につき休業		
	2	26	帝都治安につきニュースありたり ⑧二・二六事件⑧のニュース	⑧高級学校:南満洲鉄道株式会社。日露戦争で勝利した日本がロシアから獲得した満洲南部の鉄道とその村農事業を経営する半官半民の国策会社。教育機関も経営していた。満洲国に関わる人事異動が行われている	
		3	26	松岡首相辞職、海軍省長より電報ありたるを以て大連市議統本社地方部演習教育課初等教育係宛次の電報を発送。 「マツオカケシロ ニ五シュツバツ、ニハ モジハツノテイジレイアスクール ヒコウビンニテオクル エヒメケンウワマチ コウチョウ」(モジ、門前) 宇和町尋常高等小学校訓練の訓練(女生)が満洲大連の学校へ転校になる。	
11年 1936年	3	4	19	濱治市国防婦人会⑨発会式	⑨国防婦人会:白いカップウチと会の名が書かれた白いたすきを会の制服とした ⑩社子:成年に達した男子の事
		6	7	本校を中心とし東宇和、西宇和の在郷将校の教育あり	
		7	14	防空演習の打ち合わせ会	
		11	国防婦人会総会		
		15	演習社子⑩志願者予備教育		

図1 年表(部分)

述があった。家庭防空組合は住民による防空組織であった。“興亜奉公日”が昭和14年9月1日の記述から登場した。内閣は毎月1日を“興亜奉公日”と定め、人々は質素儉約の生活を特に実践する日となっていた。“どんぐり出荷(九貫五百)県庁宛”(昭和15年3月16日)は葉・染料・インクの原料として、あるいはパンの原料になるということで児童たちがどんぐりを集め愛媛県庁に発送したことである。“農家の児童を除き学級別落穂ひろい”(昭和14年11月8日)は食料調達のため、稲刈り後に田畑に散らばる落穂の拾い集めであった。食料不足、もの不足の状況が出現していた。

(5) 昭和16年度

“桑の皮はぎ”(昭和16年5月29、30、31、6月2日)。“乾燥桑皮出荷 4貫俵を100俵出荷(1.5トン)”(昭和16年7月18日)は葉をとった後の桑の木を伐りその皮をはぎ、繊維工場に運び学生服などの生地に加工した。綿花がないため桑の皮がその代用品になった。出来上がった学生服はゴワゴワで着心地良いものではなく、洗濯すると縮んだ。学級に何着か配給され抽選で当たった場合のみ購入可能であった。“思想対策研究会並びに協議会会場”(昭和17年1月22日)との記述がある。思想や言論を取

り締めろとうとする息苦しい時代を象徴するような記述であった。

#### (6) 昭和17年度

“15:45 空襲警報発令 18:40 解除”（昭和17年4月18日）と空襲に関する記載が登場していた。“5年以上開墾作業”（昭和17年7月8日）は食糧難のため運動場に畑を作り、芋などを作ることであった。“女子教員<sup>なまな</sup>雑刀講習”（昭和17年7月26日）という記述があった。

#### (7) 昭和18年度

“師魂<sup>しこんれんせいび</sup>練成日”という記述があった（昭和18年5月1日、6月20日など）。教師が心身・精神を鍛える日であった。“第1回傘の配給（57本）”（昭和18年8月26日）“金属回収”（昭和18年12月14日）の記述があった。物資の欠乏を感じさせられる記述であった。“奉仕作業”、“防空訓練”、“英霊出迎え”の記述も多数あった。

#### (8) 昭和19年度

“警戒警報”、“空襲警報”の記載が多数あった。“牛馬毛蒐集”（昭和19年4月14、15日）は動物の毛皮や肉を供出させられたこと、“<sup>わらび</sup>蕨をとろう<sup>みき</sup>蕨を送ろう運動実施”（昭和19年4月23日）や“3年以上麦の落穂ひろい”（昭和19年6月13日）、“5年以上芋の葉柄を取りに行く”（昭和19年10月19日）は食料不足を補うための活動だった。

#### (9) 昭和20年度

空襲警報の記載がある。年表に付した注釈は4月～8月警報177回、夜間警報159回と記している。桑皮はぎ、南瓜植え、さつまいもの苗植えなど、勤労奉仕に時間が割かれている。“高等科は松根油工場の勤労奉仕”（昭和20年6月15日～）は、松の根から採れる油を航空用ガソリンの原料にしよとの試みの作業への勤労奉仕だが、収率が悪く実用化されなかった。職員は火薬製造に必要な化学物質“硝酸カリ”製造講習”を受け（昭和20年8月2、3日）、“硝酸カリ”作業”を行っている（昭和20年8月14日）。“第3校庭甘藷堀り 夫々471貫目（約1.8t）、833貫目（約3.1t）を食料公団へ供出”（10月25、26日）は戦争が終わっても勤労奉仕や供出が続いていたことを示していた。廃止教科書収集（昭和21年3月4、5日）、古

教科書受け取り丸通より来校（昭和21年3月21日）。注釈によると墨塗り教科書が郡内から集められ運送会社が集荷にきた。

## 2. 現物資料の展示

### (1) 代用品“貝のお玉”



写真1 貝のお玉（宇和民具館所蔵）

前述の年表の記述には昭和18年12月、金属回収が行われたことが記されていた。国は金属類回収令を昭和16年8月制定（のち昭和18年8月全面改正）し、市民は金属製のお玉や湯たんぽまで供出させられていた。その結果、写真1にあるような“貝のお玉”を使っていた。

### (2) アメリカ軍戦闘機の補助燃料タンク（金属製）



写真2 アメリカ軍戦闘機の補助燃料タンク（金属製）（宇和民具館所蔵）

直径56cm、高さ60cm、幅174cmの金属製の容器が展示されていた（写真2）。昭和20年7月22日、宇和島市がアメリカ軍による爆撃を受けた日に宇和町石城平野の桑畑に落下したものであるという。当時のことを知る地元の方への聞き取り調査の記録によると、戦闘機の爆音に空襲かと上空を見上げた村人たちの目に落下する物体が見え、爆弾かと思い、防空壕に逃げ込んだという。なかなか爆

発しないし、爆弾ならまっすぐ落ちてくるが、物体はゆらゆら揺れながら落ちてきたため、村人たちはおそろおそろ近づいてみて、補助燃料タンクであることが分かったとのことであった。補助燃料タンクは2個落ちてきたが、そのうち1個の中には5～6升(9～10.8ℓ)のガソリンが入っており、欲しい人に配られ発動機の燃料に使われたとのことであった。

### Ⅲ 終わりに

戦時中の人々の暮らしについて漠然としたイメージは持っているが、学校日誌という一次資料を基にした展示により具体的な事実を確認した。

戦時中の人々の個々の具体的な営みを知ることができた。

### 謝辞

展示会場でご対応いただき、また、原稿を点検していただきました上甲乱一先生、宇和民具館の仙波香菜子さんに感謝申し上げます。

### ●宇和民具館

〒797-0015 愛媛県西予市卯之町3丁目106

TEL 0894-62-1334

(すがしゅういち・花園大学文学部)

### DMかたろく

どう生きる？  
どう考える？  
人生の岐路に立ったとき……  
人間関係や勉強、  
仕事で悩んだとき……  
将来に不安を感じたとき……

すべての迷いや  
悩みの答えが  
必ず見つかる。

齋藤孝先生が選ぶ  
高校生からの  
**読書大全**

とっておきの  
180冊を  
紹介します。

齋藤孝  
定価 2,750円 (本体2,500円+税10%)  
ISBN 978-4-490-21074-3

株式会社 東京堂出版  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-17  
TEL 03-3233-3741 FAX 03-3233-3746

長谷部恭男  
**歴史と理性と憲法と**  
憲法学の散歩道2 様々な思想を入り口にして憲法学の奥深さへ誘う。 3300円

カツ・メア 著  
岩崎正洋・浅井直哉 訳  
**カルテル化する政党**  
政党の本質は変化し国家の一部となった。新たなモデルを体系的に解説。 4400円

カルテル化する政党

勁草書房 TEL 03-3814-6861 \*価格税込  
FAX 03-3814-6854  
〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1 <https://www.keisoshobo.co.jp>

**GEO**  
PEDIA  
ペディア

最新ビジュアルが  
豊富でよくわかる！  
第2期全3巻 7月刊行！  
各巻定価：予価3,080円(税込)  
株式会社 清水書院

地球の構造と進化  
ダイナミックな地球の営みを明らかに

防災の科学と技術  
来るべき国難級災害に備えて

生物の多様性と生存戦略  
なぜ生物は生き残れたのか？

**ESTRELA** ■2023年5月号  
No.350/5月10日発行  
B5判 64ページ  
定価1,205円(税込)

[特集] データサイエンスにおける女性活躍

- データサイエンス領域における女性活躍～停滞の不利益～  
菅由紀子(株式会社Rejoui 代表取締役/広島大学客員教授)
- データサイエンス人材の素養とWiDS(Women in Data Science)  
小野陽子(横浜市立大学データサイエンス学部准教授/WiDS TOKYO @ Yokohama City Universityアンバサダー)
- 「データサイエンティスト」という生き方の可能性  
田仲理恵(日本電気株式会社 AI・アナリティクス統括部)  
婦木健一(日本電気株式会社 AI・アナリティクス統括部)

公益財団法人 統計情報研究開発センター(Sinfonica)  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-6 能楽書林ビル5階  
TEL: 03-3234-7471 <https://www.sinfonica.or.jp/>

**「助けて」  
が言えない  
子ども編**

松本俊彦 [編]

● 予価 1870円 (税込)  
ISBN 978-4-535-56424-4

● 7月上旬刊

様々な困難を抱えながらも容易に支援を求めない現代の中高生に関わる大人、そして本人たちへのメッセージ。大好評企画希望の続編。

**AI人材にいま一番必要なこと**

藤本浩司 [監修]  
柴原一友 [著]

すべての人が知るべき、AIの本質と活用術

● 予価 2420円 (税込) ISBN 978-4-535-78920-3 ● 6月中旬刊

〒170-8474 東京都豊島区南大塚3-12-4  
☎ 03-3987-8621 <https://www.nippyo.co.jp>

**日本近代法史講義**

伊藤孝夫 著

法の歴史を通史の形でまとめる概説書。平易な筆致で、それぞれの時代の背景やキープレイヤーの群像を描きながら、臨場感をもって法制の成り立ちに迫る一冊。

A5判 5,060円

---

**マーケティングの力**

最重要概念・理論枠組み集  
恩藏直人・坂下玄哲 編

マーケティングの重要概念・理論枠組みを抽出し、最新の知見に基づいて説明。約90項目で構成し、網羅性を追求した。学生にもビジネスパーソンにも必携。

A5判 2,970円

有斐閣 東京都千代田区神田神保町2-17  
<https://www.yuhikaku.co.jp/> 価格は税込

**教室を生きのびる  
岡田憲治 政治学**

必要なのは  
半径5mの  
安心して暮らすこと  
安全保障だ!

かみ合わない学級会、むりやり感ある過半数ルール…。学校という集団生活から社会のからくりを読みとく、13歳からの<リアルな>政治学入門! 1870円

晶文社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-11  
Tel 03-3518-4940 <https://www.shobunsha.co.jp/>

株式会社 三善

PENGUIN社の多読教材  
**PENGUIN READERS**

人気の古典・フィクション・ノンフィクションタイトルを英語学習者向けにレベリングしたリーダー 全8レベル

セット販売 ① 60冊 SET A  
② 60冊 SET B **NEW**

税込各¥62,700 (本体各¥57,000)

Miyoshi 〒167-0032 東京都杉並区天沼2-2-3  
TEL:03-3398-9163 FAX:03-3398-9170

汐崎 順子 編

子どもの読書を考える事典

さまざまな分野の専門家が子どもと読書について「考えた」事典。そして読者とともに「考える」事典!

A5版 496頁  
定価 9,900円 (本体 9,000円)  
ISBN978-4-254-68026-3

朝倉書店 東京都新宿区新小川町6-29  
〒1162-8707 TEL.03-3260-7631

1さつまると!  
**くすりのひみつ**  
たよりすぎずに正しく使おう

くすりのことを正しく知って健康を守ろう!

セルフメディケーションとして一生の健康を自分で守れるように、薬にまつわる大事なことを一冊にまとめました。薬が身近になった今だからこそ、薬の正しい使い方や知識を身につけよう!

安部 恵・監修 WILL子ども知育研究所・編著

- 定価: 本体5,000円+税 ● 全1巻
- A4変型判 (29x22cm) / 144頁
- ISBN978-4-265-05978-2

小学校 中学年～一般

この1冊が未来をつくる  
岩崎書店 〒112-0005 東京都文京区水道1-9-2-2階  
TEL 03-3812-9131 FAX 03-3816-6033